



学校だより vol.4

自然豊かで伝統にあふれる「ふるさと大堀」



大堀小学校は、震災前159名の児童が在籍していました。現在は、県内に69名、県外に69名の児童が避難し、それぞれの避難先で学習しています。教職員も県内各地に分かれ仕事をしています。大堀小学校単独でのつどいなどは行っていませんが、ふるさと学校やなみえの「しゃべり場」には多くの子どもたちや保護者が集まり、短い時間ではありましたが、ふれあいの時を過ごすことができました。震災当時に担任をしていた教員は、大堀小学校での思い出と一人一人の子どもの成長に感慨もひとしおでした。友だちと楽しそうに話し活動する子どもたちの目の輝きに、励まされる思いもしました。

大堀小学校では、震災後、不定期ではありますが学校便りを発行してきました。また、11月22日には大堀小学校のホームページを開設し、全国に避難している児童や保護者の皆さまに情報を発信しています。学校便りはホームページでも見ることができますのでぜひご覧ください。

ホームページ [URL www.ohbori-e.fks.ed.jp](http://www.ohbori-e.fks.ed.jp)

平成23年3月11日、放課後に予定していたワックスがけのため、児童の机を多目的広場に移動し、着替えや下校の準備をしているときに地震が発生しました。そのため、校舎内

には児童の荷物や着替えなどが散乱したままとなっていました。学校周辺の放射線量は高く自由には立ち入りはできませんが、何度か教職員で学校に立ち入り、子どもたちの荷物の確認や整理作業を行ってきました。浪江町の区域再編の結果次第では、子どもたちのランドセルや学用品もお返しできるのではないかと考えています。

自然豊かで伝統にあふれる「ふるさと大堀」の学校と思い出を守っていけるよう、今後も教職員力を合わせて活動していきたいと考えております。今後とも、保護者の皆さま、地域の皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。



☎ 大堀小学校（浪江小・中学校事務局） ☎ 024-567-6770